

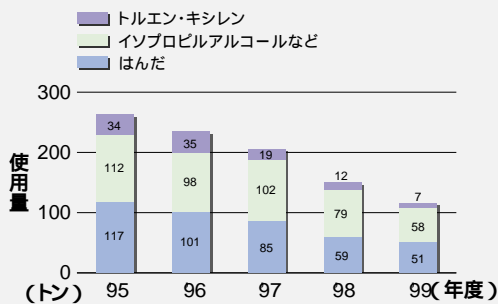
グループ会社取り組み事例(国内)

国内関係会社においても、化学物質の削減や省エネルギー対策など、それぞれ積極的な環境保全活動を行っています。事例として富士通テンおよびPFUにおける取り組みを紹介します。

富士通テンにおける環境保全活動

1992年から地球環境問題への全社的な取り組みを開始し、1997年10月までに国内全拠点で国際規格(ISO14001)に基づく環境マネジメントシステムの認証を取得しました。化学物質削減の取り組みでは、加工ラインの統合による製造工程の効率化で、はんだ付け装置を削減し、電力使用量や、イソプロピルアルコール使用量、はんだかすなどを大幅に削減しました。また、イソプロピルアルコール供給ポンプの制御変更による現場改善で、はんだ付け装置の爪洗浄におけるイソプロピルアルコール使用量を従来に比べ半減させました。

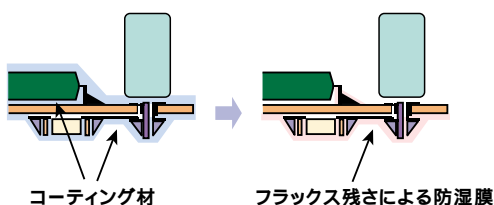
化学物質使用量の推移



新材料開発による化学物質削減

従来は、自動車用電子機器の耐湿性を向上させるために、プリント基板の表面に防湿コーティングが必要でした。そこで、はんだ付け時に使用するフラックスの残さで防湿膜を形成する技術を開発し、コーティングレスを実現しました。これにより、コーティング溶剤(トルエン、キシレン)の使用量を約80%削減しました。

防湿フラックス(イメージ図)



PFUにおける環境保全活動

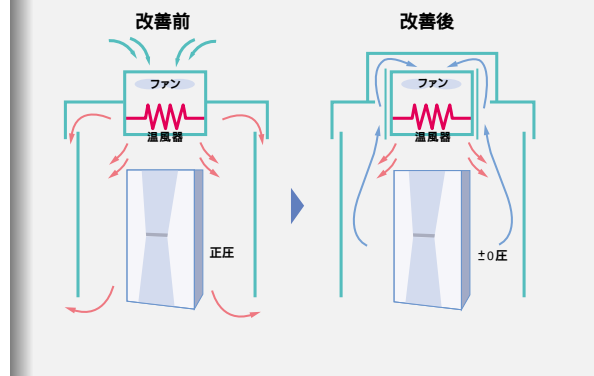
1993年から地球環境問題への取り組みを開始し、1996年10月に国際規格(ISO14001)に基づく環境マネジメントシステムの認証を笠島工場で取得しました。高温エージングtentによる大幅な省エネルギーと、生ごみリサイクルによる自社菜園での有機栽培などにより循環型企業を推進しています。

高温エージングtentの省エネルギー

装置エージング試験工程にて、従来は温風器の吸気を室内から取り込んでいましたが、改善後は温風器の吸気を室内から取り込まず、tent内の暖められた空気を循環させるとともに、tent外への熱風の漏れをなくすことで、省エネルギーを行いました(39台)。

省エネルギー量：削減電力7.6MWh/年(16%削減/年)

高温エージングtentの省エネルギー



グループ会社取り組み事例(海外)

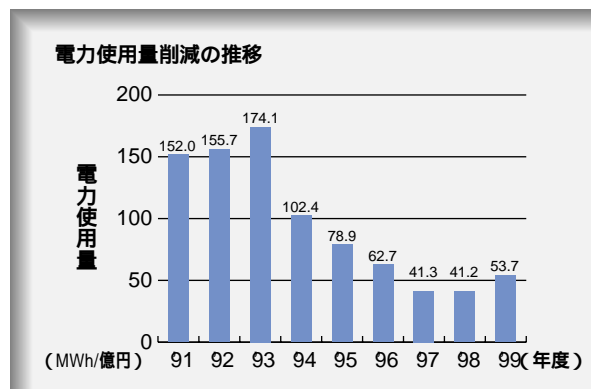
富士通は、国際的な事業を展開するグローバル企業として、北米、アジア・オセアニアおよび欧州の各地にある海外関係各社において、独自に積極的な環境保全活動を行っています。事例として、富士通タイランド、富士通ネットワーク・コミュニケーションズおよびICLにおける取り組みを紹介します。

富士通タイランド(FTC)における環境保全活動(タイ)

FTCでは、環境マネジメントシステム、品質管理システムにおいてISO9002とISO14001認証を取得しました。FTCの環境保全活動は、環境スローガン「自然との調和」に基づいて取り組んでいます。

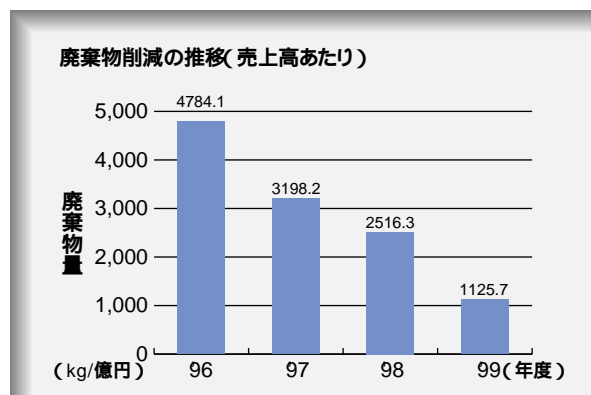
電力使用量の削減

各事務所においてデータを分析して、電力使用量の削減に努め、2000年度末までに売上高あたり20%削減(1996年度比)を目指しています。



リサイクル活動

紙、包装材、プラスチック、金属、部品類をリサイクルして廃棄物の最小化に取り組み、リサイクル率60%を実現しました。



第2次植林プロジェクト

1997年から植林プロジェクトを開始し、タイの緑地面積の拡大に貢献するとともに、環境に対する従業員の意識高揚に役立ちました。



セミナーへの参加

環境保全の面で貢献した「最高の産業」受賞企業の1社として、セミナー(2000年1月)で講演し、FTCの環境活動を紹介しました。



富士通ネットワーク・コミュニケーションズ(FNC)における環境保全活動(アメリカ)

FNCでは、環境マネジメントシステムを構築する過程でイントラネットを活用し、使用者にとってイントラネットのシステムを可能な限り使い易く効率的に、かつ紙を使用しないようにしました。環境マネジメントシステムの構築により、化学物質の使用量と、廃棄物の発生量を削減することができました。

化学物質使用量の削減

先進的な技術を導入することにより、化学物質の廃棄物量(生産高比)を60%(1996年比)削減するとともに、コストダウンの効果ももたらしました。

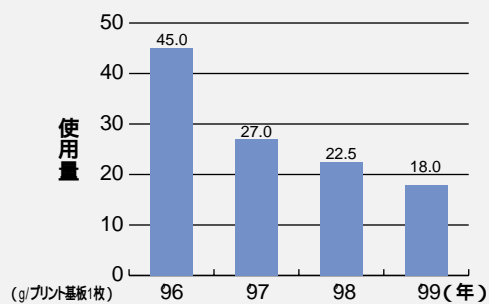
廃棄物の削減

さまざまなリサイクルプログラムを構築して、廃棄物の排出量(生産高比)を77%(1997年比)削減しました。これらのプログラムには、段ボール、プラスチック、紙、金属、その他の材料をリサイクルすることが含まれ、1999年9月から2000年2月にかけて、段ボール113トン、紙16トン、プラスチック5トンをリサイクルしました。



段ボールリサイクルプログラムに参加する従業員

化学物質使用量削減の推移



ICLにおける環境保全活動(イギリス)

ICLでは、1970年代末から使用済みコンピュータのリサイクルを行っており、独自のリサイクル基準と、リサイクル協力会社の環境審査プログラムを設定しています。この環境審査プログラムにより、リサイクル協力会社の審査をし、認定を行っています。

環境審査プログラムの主要基準

ICLから受け入れたすべての機器・材料の量および再利用・リサイクルされた機器・材料の量を把握し報告書を作成すること。

土壌・水・大気などへの環境負荷を効率的に監視し抑制すること。

製品・材料の適正な取り扱い、有害な材料とリサイクル後の材料・部品の適正な分別・取り扱いを行うこと。

分別、取り扱い、廃棄の手順書を提供すること。

英国環境庁からリサイクル業者としての許可を受けていること。



ICL